

# ふれあい

高花平小学校 学校だより  
No. 30  
平成 29(2017)年 3月  
☎ 321-3040, 320-2074



## みんなが“やりたくなる”PTAに・・・

～ 先日、新旧PTA本部役員・顧問さんらが集まり、これからのPTAのあり方について、あれこれ話し合いをしました。（\*まだ、《案》の段階ですが、いくつかを紹介しします）

**会議の精選** → まず、①役員会・②代表委員会(役員・専門部代表)で、重要案件について協議・企画し、③評議委員会で報告・検討していく。（会議の順序など改善）

**文化祭バザー** → かなりの負担になっているようなので、もっと“スリム化”をはかる。  
\*販売品数を減らす、販売品目の固定（〇〇部＝おでん・寿司、□□部＝たい焼き・・・）  
\*チケットの販売方法見直し  
（売り歩く⇒集会所・公民館などで「販売日」をもうけ、買いに来てもらう）  
\*理科室・玄関付近の軒下での販売（昨年、テントなし＝省力化）など

**役員等の選出方法** → 安易にくじ引き・ジャンケンで選出するのではなく、円満な話し合いで適切な人材を選出（適材適所）、\*立候補者への特典  
\*できる限り、複数年務めてもらえるような条件整備（特典など）

**学年PTA活動** → これまでのように、食べ物をつくって食べるだけでいいのか？必要か？など

## 心のキャッチボール ～ みなさんからの声・58 ～

…… 学校評価（保護者・児童アンケート）「自由記述」, 「日ごろのみなさんの声」 ⑥ ……

- 夏休みのプール開放は、学童のみ開放したり、やりたい父兄のみにするなど中途半端な事をするより、多数決で「やる・やらない」を決めるべきだと思う。皆が平等であるべきだと思う。
- 夏のプール開放は、個人的には、人命を守るという大きな責任があるので正直怖い。保護者にちゃんと賛否をとってほしい。一度決めたことなのに、また再開の話が出るのは、どうなのか…
- 3年前から、PTAの夏休みプール開放がなくなってしまった。多くの子どもたちが参加していたのに、おとなの都合で中止になったのは、本当に残念だ…。子どもは、今も「夏のプールをしてほしい!」と言っているのだから、またみんなで考え直したい。
- 夏休みのプール開放は、子どものために必要ではないか。
- 25年度から、夏休みのPTAプール開放が中止となっているが、親の意見を中心に考えるのではなく、児童の視点に立って考えたい。監視体制の負担を考えるとすれば、運営協議会委員や自治会も協力できる。（“地域の力”を借りる）来年度のPTAプール開放復活に向け、再考していきたい。（第3回学校運営協議会での議論）

→ 裏面をご覧ください。元高花っ子(卒業生)・3人の子を持つ元保護者・校長でもある私(伊刈)の本音です。（少々厳しい表現もありますが…）一人でも、わかっていたらありがたいです。

# 子どものことを 第一に考えたい・・・(1)

～ 私(校長)は、およそ40年、のべ10校で勤務しました。どの学校も、「夏休みのプール開放」をしており、親として教員としてそれが当たり前だと思っていました。それが少し前から、「夏のプール」を止める学校が出始めました。当時、市内39校中、「夏のプール」を止めた学校が5校(13%)、実施している学校34校(87%)\*でした。(※H25.3現在)

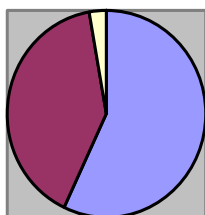
そのころ、私は、『うちの学校は、暑い中やけど、みんなががんばってやっているんやぞ!!』と、母校・高花平小学校を誇りに思っていました。ところが、平成26年に高花平小学校へ赴任したら、「高花平小も、昨年から夏のプールが中止になった」と聞かされ、本当にショックでした。平成25年度のPTA総会要項には、『=学校創立50周年にあたり、子どものことを第一に考えたPTA活動を進める=』と書いてあるのに・・・。

みんなの思いをつかむため、アンケートをするのは重要なことです。その次は、アンケートから浮かんできた問題点・課題について、「では、どうしたらいいのか?」という改善策を、PTA役員・委員会で、学校との協議を通して、考えるのが順序です。

聞きますと、「監視の時は、ビーチパラソルなしで・・・」、「保体部長さんが、期間中ずっと仕事を休んで出続けなければならなかった」そうです。(※聞いた話ですので、間違っていたら指摘して下さい)『夏の炎暑の中、どこの学校(プール)でもビーチパラソルは使っています。熱中症になってしまいますよ。』、『期間中ずっと仕事を休むのは、あまりにも気の毒。クビになってしまいます。多くのPTAは、本部役員・保体部委員さんみんなが、交代しながら運営しています。』『監視する人が少ないのなら、昨年のように地域の人の力(ボランティア)を借りてはどうでしょう。』

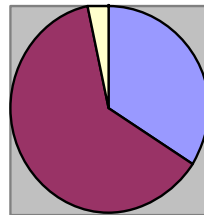
ほかに、さまざまな改善策・アイデアはあったはずですが、それが、十分な議論抜きで、「反対が多いので、止めます」と、いきなり総会で結論付けてしまいました。「アンケート結果=結論ではない」と思います。学校は、何のアドバイス・指導もしなかったのでしょうか・・・。

中止してから3年がたち、昨年は、PTAさんが子どもたちにもアンケートをしてくれました。(ありがとうございます!!) どの学校でも、大抵は こども=楽しみ、行きたい、「おとな=えらい、やめたい」という結果が出ます。でも、いろいろな議論の末、「やっぱり子どもたちのために、がんばろうよ!!!」と、ほとんどの学校は踏ん張っているのです。近くのS小・T小も、一時プールを中止しましたが、「大変だけど、子どもたちのため、またプールをやきましょう!!!」と、PTAが立ち上がり、今も続けています。私たちも、もう一度、子どもたちのことを第一に考えませんか。まず、子どものことを考えたPTA・学校にたちもどりませんか。〈つづく〉



こども  
YES :  
57%  
NO :  
40%

■ 賛成・やりたい  
■ 反対・行かない  
□ 未回答



おとな  
YES :  
34%  
NO :  
63%

■ 賛成・協力する  
■ 反対・協力できない  
□ 未回答

たかはなだいらしょう けっか  
■ 高花平小 PTA アンケート結果

ひだり みぎ ほごしゃ げんざい けっか  
(左 : こども, 右 : 保護者, H28.5現在の結果)